

教職及び
博物館に関する科目

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09302	教育原論A (b)	随	2	2	前期	酒 井 朗
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 この講義は教職または博物館学芸員を志望する学生を主たる対象としている。内容は、教育、とくに学校教育の基本的構造とその歴史的、社会的性格について概説するとともに、その構成員である教員の社会的役割、児童・生徒のおかれた状況について解説する。また、変動のはげしい現代社会がかかえる種々の教育問題や近年の教育改革の動向についても触れる予定である。講義はできるだけ受講者の意見を求めながら進めていきたい。

【講義計画】 以下のような内容を予定している。

1. イントロダクション
2. 教育とは何か——人間形成装置の必要性和「教育」の歴史性・社会性
3. 私事としての教育vs公教育
4. 日本の教育の流れ(1)戦前の学校教育
5. 日本の教育の流れ(2)戦後の教育改革
6. 政治と教育——学校教育における統制と自律の問題
7. 教育機会の拡大は何をもたらしたか？
8. 中学校教育の難しさ
9. 改革期の高校教育
10. 現代社会と青少年
11. 教員養成、教師教育の現状
12. これからの教師役割

【評価方法】 評価は、1)出席状況、2)レポート、3)試験の3点を総合的に判断する。

【テキスト】 特に使用せず、プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09303	教育原論A (c)	随	2	2	後期	廣 田 照 幸
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 現代教育の基本的な構造や機能を概観する。特に、現代学校が陥っている構造的ジレンマや、われわれが教育を論じる時に陥りがちな錯覚を明らかにしていく。それを通して、教師として、何が可能で何が不可能かについて、客観的・総合的な考察ができるような素材を提供することが本講義の目的である。

【講義計画】 以下の内容を講義する。

- (1)学校教育の機能と目的
- (2)生活指導の構造
- (3)教授・学習の構造
- (4)非行問題の構造
- (5)学歴主義の構造
- (6)現代学校教育をどう見るか
- (7)教師という仕事

【評価方法】 授業終了後、試験を行う。また、出席も評価に加味する。

【テキスト】 指定せず。

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09304	教育原論A (d)	随	2	2	前期	梅村敏郎
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 教育の目的に関する哲学的、社会思想史的考察や教師及び学校教育に係わる法規の概説を行い、教職に対する使命感、責任感の涵養を図る。

【講義計画】 講義は次のような構成になる予定である。

1. 教育原論とは何か。
2. 人間はなぜ子どもを教育するのか。
3. 何が教育の目的を規定するのか。
4. 中等教育を中心とするわが国の近代学校の教育目的。

【評価方法】 評価は筆答試験による。

【テキスト】 テキストは使用しない。

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09306 09307	教育原論B (b)・B (c)	随	2	各2	後期 前期	荻原克巳
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 教授方法、学習指導、生活指導、特別活動、学級経営、教師論など、多くの事例を交えながら、「教育経営・実践」を中心に講義する。

- 【講義計画】
- 学習指導（・学力とは何か・教育課程と教科書や教材・学び方を学ばせる・授業技術の要素と構造・学習過程と指導案・集団学習と個別学習の教育的意義・相対評価と絶対評価）
 - 生活指導（・生活指導の意義と内容・生活指導の組織と計画・生活指導の方法・家庭や地域社会や関係機関との連携）
 - 教育の経営（・新しい学校経営論・学校経営の概念・学校経営の三要素・学校経営の基本原則・校長の職務の重点・学校経営の機能・校務分掌・教職員の研修・学校経営と学級・学級経営）
 - 教師（・教育過程と教師・教育における人間関係・理想的教師像と現実的教師像・教職と教養及び身分）

【評価方法】 期末テストにより評価するが、出席も重視する。

【テキスト】 教師養成研究会編『教育原理』（学芸図書株式会社）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09308	教育原論B (d)	随	2	2	後期	梅村敏郎
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 教育制度の基本的な構造とその社会的な機能の概略を説明するとともに、学習指導や生徒指導を行っていくうえで実際に必要とされる知識や技能について講義する。

【講義計画】 講義は、先進諸国の学校制度の比較と教育課程の問題を中心とする予定である。

【評価方法】 評価は筆答試験による。

【テキスト】 テキストは使用しない。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09311	教育実習指導（教育実習を含む）	随	4	3	前期	荻原克巳
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 教育実習にあたり、教育者としての基本的な態度・技能を身につけるための指導である。
具体的には、実習に対する心構えと、観察・参加・実習を通じての教育理論や実践に関する基礎的能力を養うことを目指す。

【講義計画】

- 教育実習の意義
- 教師養成と教育実習
- 4年次生による教育実習体験談
- 教育実習の心得
- 教育実習の形態（観察・参加・実習）
- 教育実習の内容（学校経営・学校の組織・生徒の理解・教育課程・学習指導・道徳と特別活動・生活指導と学級経営・学校の施設と環境・教師としての勤務）
- 教育実習の実際（教材研究・授業・学習指導案・授業研究・道徳や特別活動や生活指導の実際）
- 学習の評価
- 本学OBの現職教員による校種別・教科別実際指導
- 教育実習事後指導（実習体験をふまえ、あらためて「教育」や「教師」について考える。）

【評価方法】 実習校の評価を重視し、出席も配慮して評価する。

【テキスト】 教師養成研究会編『教育実習の研究』（学芸図書株式会社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09321 09325	学校教育心理学A（a） 学校教育心理学B（a）	随	3	各2	前期 後期	増田末雄
他の科目との関連	学校教育心理学A（a）・A（b）			他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 学校教育をより望ましく、より効果的に進めるためには、学校教育に関係する諸事象に関してより深い理解と洞察力が必要とされる。
本講義においては、特に、教育の対象である児童・生徒の心身の「成長・発達」の諸特徴と学校生活において種々の新しい経験を獲得したり、保持していく「学習」の過程についての理解を深めることを目的とする。

【講義計画】 学校教育における「児童・生徒の心身の発達と学習」について理解を深めるために次のような項目に従って講義を進める。

1. 学校教育心理学の目的とその研究法ならびに領域。
2. 児童・生徒の心身の発達に関する心理的諸特徴発達の諸理論や発達課題、発達段階などについての解説。
3. 学習に関する心理学的諸理論や学習過程について、資料など提供しながら考察と解説を加えながら理解を深める。
4. 「成長・発達」と「学習」についての関係について考察を進める。

【評価方法】 講義内容についてのテストを実施する。なお、講義経過の中で、児童・生徒についての調査法や学習に関する諸実験などを実施し、レポートなどの提出により進める。

【テキスト】 増田末雄編『これからの教育心理学』（学術図書出版社）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09322 09326	学校教育心理学A (b) 学校教育心理学B (b)	随	3	各2	前期 後期	増田末雄
他の科目との関連	学校教育心理学A (a)・B (a)			他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 本講義においては、学校教育の重要な事項とされている、学級集団、教師・生徒関係、教育評価、教材の作成と教育機器の利用（コンピュータ）などについての理解を深めることを目的とすると共に教育の方法や技術に関する諸問題について解説を加える。

【講義計画】 上記の諸項目を進めるために以下のような諸項目に従って講義を進める。

1. 学級集団の意義とその構造と機能
ソシオメトリーなどの方法と解釈などにより理解を深める。
2. 教師・生徒関係については、教師・生徒関係の特質や教師の指導タイプと生徒の諸特徴などの諸調査の資料なども参照しながら進める。
3. 教育評価に関しては、新しい評価観（観点別評価）への変遷などもとりあげ、診断的評価、形成的評価、総括的評価などについて解説を加える。さらに、知能の評価、学力の評価などについての理解を深める。
4. 教材の作成や教育機器に関しては、教科などを例にあげ、心理学的な面から教材分析とその配列や教育機器の効果的利用など教育工学的な面からの考察を進める。コンピュータについては理論についての解説やプログラムの作成などの解説をする。

【評価方法】 講義の内容についてのテストを実施する。なお講義経過の中での資料分析についてのレポートなどの提出により進める。

【テキスト】 増田末雄編『これからの教育心理学』（学術図書出版社）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09323 09327	学校教育心理学A (c)・B (c)	随	3	各2	前期 後期	石田裕久
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 本講義は教員免許状の取得に必要な教職専門科目として開講されるものである。学校教育心理学A (c) (前期)では、出生から青年期に至る心身の成長と発達を跡づけるとともに、学校教育心理学B (c)では、「学習」の諸過程について理解を深めることによって、教育指導・方法にかかわるさまざまな問題について理解することを目的とする。

【講義計画】 学校教育心理学A (c) (前期)では、乳幼児期から青年期に至る心身の発達を知的発達、心理社会的発達、自己意識の発達という3つの側面からたどるとともに、教育（学習の過程）と発達のかかわりについて解説する。また、学校教育心理学B (c) (後期)では、知能・学力・性格などの理解を踏まえて、教育の方法や技術・評価の在り方についての講義を行なう。

【評価方法】 前期・後期とも定期試験期間中に筆答による論述試験を行なう。また、授業内容に関わるレポート提出を求めることがある。

【テキスト】 神谷育司他（編）「発達と教育の心理学」協同出版

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09324	学校教育心理学A (d)	随	3	2	前期	宮川充司
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【副題】 発達と学習の心理学

【講義内容】 学校教育に関連する事項として重要な人間発達の基礎、学習の過程についての基礎を、学校教育現場の現状や子どもたちの実像と重ね合わせながら、学んでいく。

【講義計画】 次の内容を順次取り上げていく。
人間の発達とは何か
人間発達の基礎・遺伝と環境・発達の区分・研究法
生涯発達の段階として位置づける児童期・青年期
最近の学校と子どもたち
学習と学校教育
学習の基礎・学習意欲・学習指導法

【評価方法】 学期末試験、及びレポートによる

【テキスト】 宮川充司、坂西友秀、大野木裕明（編）『児童・生徒の発達と学習』（ナカニシヤ出版）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09328	学校教育心理学B（d）	随	3	2	後期	宮川充司
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【副題】 教育の方法と技術

【講義内容】 学校教育と授業方法にかかわる基礎的な事項を、最近の学校教育の現状・変化と重ね合わせながら、教育活動の科学的理解と対処法を学んでいく。

【講義計画】 次の内容を順次取り上げていく。
最近の学校教育を巡る変化・学習スペースのオープン化・学習の個別化・学校の情報化
授業のデザインと学習指導
マルチメディアとコンピュータ
教育評価とテスト

【評価方法】 学期末試験及びレポートによる。

【テキスト】 大野木裕明、森田英嗣、田中博之『教育の方法と技術を探る』（ナカニシヤ出版）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09331 09332	道徳教育の研究（a）・（b）	随	4	各2	前期 後期	荻原克巳
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 道徳の基本的な問題としての社会化と人格化について種々の側面から検討する。
また、教育全体の中での道徳教育の意義や使命について論及し、その理解を図る。

【講義計画】 ○学習指導要領の改訂と道徳教育
○道徳教育の目標
○道徳教育の基本的な在り方
○道徳性の発達と道徳教育
○道徳の時間の目標
○道徳の内容（内容構成の考え方・内容の取扱い）
○内容項目の指導の観点（自分自身の関すること・他の人とのかかわりに関すること・自然や崇高なもののかかわりに関すること・集団や社会とのかかわりに関すること）
○「道徳の時間」と「全教育活動」における指導
○指導案と指導過程の工夫
○道徳教育と資料の活用
○道徳における評価

【評価方法】 期末テストにより評価するが、出席も重視する。

【テキスト】 文部省編『中学校指導書— 道徳編— 』

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09333	道徳教育の研究 (c)	随	4	2	前期	梅村敏郎
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 子どもを「道徳的に善い」人間に育成するために、教師は何をしなければならないか、そこにはどんな問題が含まれるかを考察する。

【講義計画】 講義の構成は次のようなものになる予定である。

1. 道徳教育とは何か。
2. 「道徳的に善い」とはどういうことか。
3. 道徳教育の心理学的側面。
4. わが国の近代学校の道徳教育。
5. まとめ

【評価方法】 評価は筆答試験によるが、試験問題は事前に公表する。

【テキスト】 テキストは使用しない。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09334	道徳教育の研究 (d)	随	4	2	後期	梅村敏郎
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 20世紀の入ってからの道徳教育の理論としては、デュルケームやデューイのものが古典的名声を得ているが、このコースではそれ以後の優れた道徳教育論を取り上げて、それを正確に読むとともに、その解説を試みる。

【講義計画】 この学期には、R.S.Peters, Reason and Habit: The Paradox of Moral Educationを取り上げる予定である。

【評価方法】 評価は筆答試験による。

【テキスト】 プリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09341 09342	生徒指導論 (a)・(b)	随	3	各2	前期	荻原克巳
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 「社会化」という観点から、児童・生徒の積極性、協調性といった社会的・対人的態度の形成、および学級内の望ましい人間関係育成のための具体的方策について論じる。また、進路指導の問題や同和教育についてもふれる。

【講義計画】
 生徒指導の意義と課題
 生徒指導の原理 (生徒指導の基礎としての人間観・自己指導の助成のための方法原理・集団指導の方法原理・援助や指導の仕方に関する原理・組織や運営の原理)

- 青年期の心理と生徒指導（青年期の意義・青年期の心理的特質・適応と精神的健康）
- 生徒理解（生徒理解の考え方・生徒理解のための資料・生徒理解の留意点）
- 生徒指導と教育課程
- 学校における生徒指導体制
- 教育相談（教育相談の方法・教育相談の限界と他機関との連絡）
- 生徒指導と学級担任の教師
- 学校における非行対策
- 生徒指導と社会環境
- 同和教育

【評価方法】 期末テストにより評価するが、出席も重視する。

【テキスト】 文部省編『生徒指導の手引』（改訂版）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09345 09346	教科外指導論（a）・（b）	随	3	各2	後期	荻原克巳
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 教科活動以外の特別諸活動の意義や目標についてふれ、自主的・実践的な社会的態度の育成や望ましい人間関係の在り方、そのためのグループ活動の方法や配慮等について具体的に解説する。
また、障害者教育（特殊教育）についても論じる。

【講義計画】

- 特別活動の目標
- 特別活動の基本的な性格（特別活動の教育的意義・特別活動の内容相互の関連・特別活動と各教科や道徳等との関連）
- 学級活動（学級活動の特質・活動内容・指導計画の作成・指導上の留意事項）
- 生徒会活動（生徒会活動の特質・活動内容・指導上の留意事項）
- クラブ活動（クラブ活動の特質・活動内容・指導上の留意事項）
- 学校行事（学校行事の特質・活動内容・指導上の留意事項）
- 特別活動の授業時数
- 入学式や卒業式などにおける国旗および国歌の取扱い
- 特別活動の指導を担当する教師
- 障害者教育（特殊教育）

【評価方法】 期末テストにより評価するが、出席も重視する。

【テキスト】 文部省編『中学校指導書——特別活動編——』

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09351 09355	英語科教育法A（a）・B（a）	随	3	各2	前期 後期	田中春美
他の科目との関連				他学科履修	不可	重複履修 不可

【講義内容】 英語教育の基本問題（目的・指導目標・教育環境・学習者と教師の要因など）から始め、応用言語学を背景としながら、言語の諸局面（発音・文字・語彙・文法など）の指導、4技能の指導を考える。さらに、教材・教授法・教案・評価・視聴覚機器・学習指導要領などにも触れるつもりである。

【講義計画】 テキストの内容を中心に、必要に応じて補足を加える。また、ビデオを通して授業の具体例を見る機会を作りたい。

【評価方法】 前後期の定期試験のほか、教回のリポートから総合的に評価するが、出席も極めて重視する。

【テキスト】 土屋澄男著『英語科教育法入門』（研究社出版）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09352 09356	英語科教育法 A (b)・B (b)	随	3	各2	前期 後期	松 本 青 也
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 今や英語は国際共通語とさえ言われ、極めて便利で何をするにも不可欠な言語とされている。しかし「英語教育」を考えると、英語の効果的な教育方法を考えるだけで終わってはならない。日本人にとって「英語」がどんな意味を持っているのか、そして学校「教育」の中で、それはどんな内容を期待されるのかまでを含めて考える必要がある。受験科目の一つとしてほとんど無意識に学んできた「英語」を、今度は教える立場から、しげしげと眺めてみたいものである。

【講義計画】

1. 目的論：問題提起。コミュニケーション能力。
2. 学習指導要領。学校英語教育の目標。
3. 異文化と国際理解。
4. 技能論：Sound
5. Listening
6. Speaking
7. Reading & Writing
8. 方法論：教授法の歴史（日本）
9. 教授法の歴史（外国）
10. 外国語教授理論
11. 新しい教授法—— 1
12. 新しい教授法—— 2
13. 〔模擬授業〕指導過程の構成
14. まとめ：これからの英語教育

【評価方法】 テスト（小論文を含む）

【テキスト】 青木昭六編『英語科教育の理論と実践（理論編）』（現代教育社）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09353 09357	英語科教育法 A・B (c)	随	3	各2	前期 後期	田 中 春 美
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 英語教育の基本問題（目的・指導目標・教育環境・学習者と教師の要因など）から始め、応用言語学を背景としながら、言語の諸局面（発音・文字・語彙・文法など）の指導、4技能の指導を考える。さらに、教材・教授法・教案・評価・視聴覚機器・学習指導要領などにも触れるつもりである。

【講義計画】 テキストの内容を中心に、必要に応じて補足を加える。また、ビデオを通して授業の具体例を見る機会を作る予定。

【評価方法】 前後期の定期試験のほか、数回のレポートを総合的に評価するが、出席も極めて重視する。

【テキスト】 土屋澄男『英語科教育法入門』（研究社出版）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09354 09358	英語科教育法 A・B (d)	随	3	各2	前期 後期	松 永 隆
他の科目 との関連				他学科 履 修	可	重 複 履 修 不可

【講義内容】 英語のスキルを、listening・speaking・reading・writingの順番で取り上げ具体的な指導方法や言

語活動の組み立てかたを、講義と演習形式で学んでいきます。教授法や学習理論など理論的な学習で終わることなく、ビデオなどを活用し具体的な指導技術を学び、できる限り現場の教師になったつもりで、模擬授業を数回行ってもらいます。この際、新学習指導要領も参照しながら、中学・高校の英語教育の現状と問題点、英語教師に求められるものは何かを考えてほしいと思います。

【講義計画】 講義では、教材論、教授論、教育評価をテーマとして取り上げます。演習形式においては、たとえ5分の言語活動でも、工夫して作成するのに相当な時間とエネルギーが必要とされること、創意・工夫の重要性を体験できるような教科教育法の授業を心掛けていきたいと思ひます。

小テスト（各種教授法、英語授業の評価、学習者の英語力の評価など外国語学習に関する理論的知識を問うもの）を4-5回、教案作成の課題（warm-up・presentation・practice・productionの各段階における言語活動の計画と指導のあり方を実習するため）とそれに基づく模擬授業を4-5回、学期末レポート（年2回）を課す予定です。

【評価方法】 小テスト、教案作成の課題、前期・後期レポート、出席を総合的に評価します。

【テキスト】 米山朝二（著）『英語教育：実践から理論へ』（松柏社、1989）
『英語コミュニケーション能力評価実例事典』（大修館、1994）

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09361 09362	フランス語科教育法A・B	随	3	各2	前期 後期	練尾 毅
他の科目との関連	旧カリキュラムの「フランス語音声学」 「フランス語学講読」と乗り入れ			他学科 履修		重複 履修 不可

【副題】 フランス語の音声：音声学と音韻論

【講義内容】 フランス語教育の観点から、フランス語の音声に関わる諸問題を扱う。

【講義計画】 前期

1. 音声学と音韻論
2. 調音音声学
3. 音節と音素
4. フランス語の音素体系

5. 母音

6. 子音

後期

7. シュワー（[ə]）の問題

8. 音素の変異

9. 音節

10. リエゾン

11. リズムグループ

12. イントネーション

【評価方法】 授業への参加とレポート

【テキスト】 (1)中村啓佑、長谷川富子『フランス語をどのように教えるか』（駿河台出版社、1995）¥3,200
(2)Martin RIEGEL et al., *Grammaire méthodique du français*. Paris: PUF. 1994.
フランス語のテキストは、必要箇所をコピー

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09365 09366	ドイツ語科教育法A・B	随	3	各2	前期 後期	林田 雄二
他の科目との関連				他学科 履修		重複 履修 不可

【講義内容】 外国語教育一般の問題を考えることから出発し、一外国であるドイツ語をどのように（また、何を）教えるかということを考えて行きたい

【講義計画】 前期は討論形式で行われる。
 テーマ：200X年、ついに格安の夢の高性能、超小型通訳機が発売された。それは、我々が母語で話す内容を、また相手が話す外国語を、SF映画で見るように、内容から、表現法から、個人的な声、表現の特性まで正確に通訳してくれる機械である。はたしてそのような時代に、義務教育としての外国語教育は必要か？
 これについての議論を出発にして、外国語教育の問題、可能性、意義を考えて行きたい。

後期は、様々な外国語教育法を紹介し、日本におけるドイツ語教育にどの程度利用できるか、ドイツ語教育の現状を見ながら具体的に考えて行きたい。最後には独文一年生のクラスを使い、教育実習を考えている。

【評価方法】 学期末テストより、講義への積極的な参加姿勢を評価する。

【テキスト】 そのつど、プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者	
09371 09372	イスパニア語科教育法A・B	随	3	各2	前期 後期	A. Cárdenas	
他の科目との関連				他学科履修	不可	重複履修	不可

【講義内容】 Este curso es primordialmente una introducción a la didáctica de las lenguas extranjeras, con énfasis en la enseñanza del español.

【講義計画】 Las clases teórico-prácticas girarán en torno a los diferentes enfoques, métodos, técnicas y procedimientos que se pueden utilizar en el aprendizaje y la enseñanza de una lengua extranjera. Entre los temas a discutir se incluyen los siguientes:
 1. Aprendizaje y enseñanza de las lenguas extranjeras
 2. Análisis crítico de las principales corrientes metodológicas
 3. Técnicas y procedimiento para la enseñanza de las diferentes habilidades y contenidos lingüísticos (expresión, comprensión, gramática, etc.)
 4. Planeación y preparación de clases
 5. Elaboración de materiales

【評価方法】 La evaluación final se basará en:
 a) asistencia
 b) participación activa
 c) tareas y proyectos

【テキスト】 Artículos de libros y revistas.

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者	
09375	国語科教育法A	随	3	2	前期	武山隆昭	
他の科目との関連	国語科教育法Bの履修前提科目			他学科履修		重複履修	不可

【副題】 国語科教育法概論

【講義内容】 国語科教育の基盤から説き起こし、国語科教育の歴史、現行学習指導要領の解説をした後、単元学習の組織、学習指導法、評価の理論及び方法、教材論について講じ、学習指導案の書き方をマスターさせる。

【講義計画】 序章 国語科教育の基盤……制度上の基盤、言語観、目標、特質について講じる。
 第一章 国語科教育の史的展望……明治以後の国語科教育の歴史を、国定教科書、戦後の指導要領改訂の歴史等を取り上げ解説する。
 第二章 現行学習指導要領について……平成元年告示の小・中・高学習指導要領について、改訂のねらい・特徴、構成などを講ずる。

- 第三章 単元学習……指導計画策定の根幹理論である単元学習の組織等について詳述する。
 第四章 学習指導法……学習者の編成形態、学習指導の方法、板書の仕方、ノート指導の方法等について具体的に講述する。
 第五章 国語科における評価……評価の目的・時期・方法等について論じる。
 第六章 学習指導案の書き方……指導案作成の意義、種類、形式について講じた後、実際に一つの教材を取り上げ指導案を書かせる。
 第七章 国語科の教材……望ましい教材、教科書の位置付け、教科書検定の実態（教科書制度の問題点）について論ずる。

【評価方法】 学習指導案を作成しレポートとして提出する。レポートと出席点とで評価する。

【テキスト】 全国大学国語教育学会編『新版 中学校・高等学校 国語科教育研究』（学芸図書）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09376	国語科教育法B	随	3	2	後期	武山隆昭
他の科目との関連	国語科教育法Aの履修を前提とする。			他学科履修		重複履修 不可

【副 題】 国語科教育法各論

【講義内容】 前期の概論を踏まえて、学習指導要領に示されている、「A表現」・「B理解」・「言語事項」の各領域について、具体的に教材を取り上げながら指導方法を述べ、教育学等新しい指導理論にも触れる。

【講義計画】 第八章 「A表現＝話すこと」の指導
 第九章 「A表現＝書くこと」の指導
 第十章 「B理解＝読むこと」の指導(1)総論 {含：読むことの代表的指導理論紹介}
 第十一章 「B理解＝読むこと」の指導(2)説明的文章の読解指導
 第十二章 「B理解＝読むこと」の指導(3)文学的文章の鑑賞指導 {小説・詩短歌俳句・古文・漢文}
 第十三章 「言語事項」の指導
 第十四章 教育学と国語科教育 {含：視聴覚教育、プログラム学習}
 *模擬授業……教育実習の事前指導として1～2名に実施してもらう。

【評価方法】 前期・後期両方の講義内容を範囲とし、筆記テストを実施する。出席重視。模擬授業をした人には良い点をあげる。

【テキスト】 全国大学国語教育学会編『新版 中学校・高等学校 国語科教育研究』（学芸図書）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09381 09382	宗教科教育法A・B	随	3	各2	隔週(前期) 隔週(後期)	景山あき子
他の科目との関連	AとBはペア			他学科履修		重複履修 不可

【副 題】 宗教教育の可能性

【講義内容】 リストの福音を伝えるための、教育法が講義の内容になる。

【講義計画】 次の四点を取り扱い、研究していく。
 1. 福音そのものを教師が深めること
 2. 伝える時の、相手の発達段階のこと
 3. 教育法そのもののこと
 4. 教育に当たってぶつかる、諸問題のこと

【評価方法】 講義への参加姿勢、発表、質疑応答、レポートないし試験などにより総合的に評価する。

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09386	社会科教育法	随	3	2	集中	加藤 瑛二
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【副題】 社会科教育の発達

【講義内容】 社会科を指導するためには社会科の特質について理解しなければならない。日本の社会科の変遷と本質に迫る必要がある。社会科をどのように教えるかも同時に考察の対象となる。教材資料の扱い方や授業の構造分析も教師に課せられた重要な課題である。現場の授業を念頭におき社会科全般にわたる基礎的学習の把握を目標とし、その理論的分野について学習する。

【講義計画】 本講義は社会科教師にとって必須の内容を含むが、限られた時間内で全領域をカバーすること困難であり、以下のような項目を中心にして学習を展開する。

- ①社会科とはなにか
- ②社会科の発達過程
- ③USAの社会科
- ④ヨーロッパの近代の社会観
- ⑤学習指導要領の変遷
- ⑥各分野別の学習指導
- ⑦社会科の資料・教材
- ⑧学習指導案
- ⑨社会科の授業等について学習するものとする

【評価方法】 小テスト・試験・平常の活動等を考慮して総合的に評価する。

【テキスト】 中学校学習指導要領 平成元年 文部省 大蔵省印刷局

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09391	地理歴史科教育法	随	3	2	前期	加藤 瑛二
他の科目との関連	社会科教育法			他学科履修		重複履修 不可

【副題】 地理歴史授業の実践

【講義内容】 高校教育における地理・日本史・世界史分野の全域を網羅するためには、きわめて多くの知識の蓄積が要求される。本講義は地理歴史の授業に参加するための実践的課題を探究することを意図し、学生諸君自らが積極的に行動することを期待する。各教科毎に模擬授業を展開しながら質疑・応答・講評等を組み合わせて講義を進めてゆく。目標は地理歴史の授業研究の確立である。

【講義計画】 ①地理歴史科教育の内容、学習指導要領における指導上の留意点について学習する。

- ②地理の授業研究
- ③日本史の授業研究
- ④世界史の授業研究

授業研究は模擬授業の形式で学習していく。学生諸君は各教科より任意の項目を選定して授業用の発表資料を作成すること。また、学生指導案を作成して提出することを義務づけておく。

【評価方法】 発表・応答・学習指導案・平常の活動・レポート等を総合的に判断して評価する。

【テキスト】 高等学校学習指導要領 平成元年 文部省 大蔵省印刷局

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09395	公民科教育法	随	3	2	後期	加藤 瑛二
他の科目との関連	社会科教育法			他学科履修		重複履修 不可

【副題】 公民科の授業の実践

【講義内容】 高校教育における公民科は倫理・政治経済・現代社会を含んでおり、広範囲な知識を要求される。本講義は公民科の授業に参加するための実践的な課題を追及する。各教科毎に模擬授業を展開しながら、質疑・応答・講評等を組合わせて講義を進めていく。目標とするところは公民科の授業研究の確立であり、現場教育に近接するための授業研究を目指す。

【講義計画】 ①高校公民科教育の内容、学習指導要領における指導上の留意点について学習する。
②現代社会の授業研究
③倫理の授業研究
④政治経済の授業研究
授業研究は模擬授業の形式で学習していく。学生諸君は各教科より任意の項目を選択して授業用の発表資料を作ること。また、学習指導案を作製し、提出することを義務づけておく。

【評価方法】 学習指導案・発表・応答・平常の活動・レポートの提出等、総合的に判断して評価する。

【テキスト】 高等学校学習指導要領 平成元年 文部省 大蔵省印刷局

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09401 09402	商業科教育法A・B	随	3	各2	集中	大倉 芳雄
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 教育職員免許法により高等学校教諭の普通免許状を取得するための教職に関する専門科目のうち、商業科教育法に関連する科目では、以下のような教科指導の基本を学習する。

1. 学習指導要領と商業教育
 - (1)学習指導要領の性格と改訂の経緯
 - (2)商業の目標・組織・学科
2. 各科目の内容とねらい
商業経済科目群 簿記会計科目群 情報処理科目群 総合学習科目群
3. 教育課程の編成
4. 指導計画の作製と内容の取扱い
年間指導計画、学習指導案の作製
5. 学習指導と評価
 - (1)学習指導の一般原則
 - (2)学習指導の形態と方法
 - (3)商業教科の評価
6. 商業高校における進路指導の視点
7. 資格取得指導の現状と課題
8. 商業教育の将来について

【講義計画】 教科指導の技術だけでなく、実務としての担任業務や部活動指導等商業科教員として望ましいキャリアの形成に役立つ内容にしたい。また、商業教育の当面する課題や将来展望についても触れ、幅広く商業教育を理解できるように努めたい。

【評価方法】 学習指導案の作成、課題レポートの提出、質疑応答等により総合的に評価

【テキスト】 雲英道夫著『商業科教育法』（多賀出版）

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09405 09406	数学科教育法A・B	随	3	各2	夏期集中 +後期	浜島清治 春藤修二
他の科目 との関連	全学共通科目「数学B」を履修していることが望ましい。			他学科 履 修		重 複 履 修 不可

- 【講義内容】 夏期集中の「教育法B」では高校の数学教育に実際に携わる教員により、実践指導を含めた教科内容についての授業を行なう。
後期の「教育法A」では専任教員により、数学という教科に関する基本的な考え方、数学教育の歴史等について講義する。
[本年度はA（後期）・B（夏期集中）の開講順序が例年と異なるので注意すること]

【評価方法】 レポートを提出してもらう予定

【テキスト】 特になし

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09501 09506	博物館学A・B	随	1～3	各2	前期 後期	早川正一
他の科目 との関連	博物館実習			他学科 履 修		重 複 履 修 不可

- 【講義内容】 大学において学芸員の資格の取得を目指す者は、文部省令で定められた「博物館に関する科目」を修得し、卒業を条件とする（博物館法第5条）。そのうち、博物館学は基幹となる必修科目の一つであり（施行規則第1条）、履修計画の初期に受講する事がのぞましい。
この講義は、博物館に類する諸施設の現代的意義を根本から把握し、理解させるために先進的な欧米の博物館事業に関する実態を検討する事からはじめ、それらの影響下に独自の発展をしてきた日本の博物館と、昨今の我国における多様な博物館活動や博覧会の開催にも言及して、博物館の機能の基礎概要を培いたい。

- 【講義計画】 博物館は現代の生涯学習や社会教育に関連して、まさに日進月歩の状況にあり、講義の焦点も年ごとに異なるが、主な計画事項は下記の通りである。
(I)博物館学を受講するためのイントロダクション
(II)博物館の出現と発達の足跡、そしてその世界史的意義
(III)博物館と博覧会との関係および現代的課題
(IV)博物館の役割と運営、研究と普及への活動の問題
(V)博物館資料に関する展示、保存、収集の基本と文化財保護の側面

【評価方法】 資格にかかわる講義であるから、試験を厳格に実施する。早朝からの講義であるが、担当者にとって遅刻は実に迷惑する。出欠席の状況とともに成績に反映させるので注意されたい。

【テキスト】 未定

科目コード	科 目 名	指 定	年 次	単 位	期 間	担 当 者
09511 09512	博物館実習(a)・(b)	随	2～4	各3	通年	重松和男
他の科目 との関連	博物館学、教育原論			他学科 履 修		重 複 履 修 不可

- 【授業内容】 人類学博物館（G棟地下）で行う。資料整理・目録の作成・展示改善・写真・解説パネル作成などの作業を進めながら、博物館学芸員としての、仕事の内容に理解を深める。実習であって、講義ではないので積極的かつまじめに取り組むことが必要である。受講態度に問題がある場合は、中途であっても放棄させることもある。
実習に伴い博物館見学旅行（1泊2日程度、交通費、宿泊費など各自負担）を実施し、義務づけている。各クラスとも40人を越えた場合には、受け入れられない可能性があるの下記に注意して欲しい。

登録時の人数によっては変更を認めること或いは変更を指示することがある。

- 【授業計画】 (a)木曜3、4限 4年次生を優先。2・3年次生も可。
(b)木曜5、6限 3年次生を優先する。4年次生不可。2年次生可。

【評価方法】 平常点。出席は極めて重視。(欠席、遅刻は規定通りであるが、3回以上欠席し、かつ指示に従ってその埋め合わせを行わないときは、Fをつける。)

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09516	社会教育概論	随	1~4	2	集中	高橋英次
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【副題】 生涯学習施設としての博物館

【講義内容】 博物館は図書館などとならんで社会教育－生涯教育の典型的な施設であるが、近年は従来の枠を大きく踏み越え、資料の収集保存や調査研究といった博物館の基本機能にくわえて、市民参加性、観光化、アミューズメント性への傾斜などの多様化、娯楽化の傾向が著しい。映像や電子テクノロジーの導入によって総合的な情報伝達機能を充実させ、能動的活動を展開するなど社会的役割を変貌させつつある。

【講義計画】 特異な対象テーマや領域など、かつてないひろがりをもせている「博物館」の現況を展望し、空間メディアによる主題表現の方法、学習や娯楽への利用の様態、情報サービスや人的ネットワークの拡大など社会教育にはたす役割について、各地事例の映像記録を中心に検討する。あわせて博覧会やエキシビジョンなど、先端的展示技術の開発機会であり、文化史的エポックを画するメモリアルでもある文化イベントの意義について考察する。なお、学外授業を実施する予定である。

【評価方法】 事例紹介と、空間メディアの活用によるテーマ表現の方法、情報伝達の技術についての学習をふまえ、自身で博物館施設、エキシビジョンなどを調査取材し、簡潔にデータシートにまとめる作業を通じて、社会教育施設のありかたやその活動についてどのように理解し、あるいは提案の意見を提示できるかを評価する。

【テキスト】 広瀬 鎮編『比較文化研究の世界』（学術図書出版社）予価¥2,060

科目コード	科目名	指定	年次	単位	期間	担当者
09521	視聴覚教育	随	1~4	2	集中	高桑康雄
他の科目との関連				他学科履修		重複履修 不可

【講義内容】 現代における生涯学習の重要性に視点を向け、現代社会の一特徴である視聴覚メディアの意義を考えるとともに、それが生涯学習のための一手段として、どのように活用されるべきかを論ずる。したがって、昨今の発達した視聴覚メディアは博物館や美術館における展示のあり方や普及の諸活動と密接に関連をもつわけであり、その基本だけでなく応用の面も講述して理解を促す。

【講義計画】 集中講義の大部分は、適切なビデオテープの映写、OHP装置の操作などを併用して講義をすすめる。それに加えて、講義の理解と応用を深めるため、放送局、視聴覚ライブラリー、関連する博物館などを訪問して学外授業とする。なお、学外授業の予定は上記の大学での講義中に発表し、当日の交通費、昼食費、入館料は各自の負担とする。

【評価方法】 大学内での講義および学外授業の出欠席を評価し、レポートを提出させる。レポートのテーマは講義の際に与える。

【テキスト】 未定